

# 財務諸表に対する注記

平成29年度

## 1. 重要な会計方針

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

基本財産である投資有価証券

期末日の市場価格等に基づく時価法によっている

### (2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定率法によっている

### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,556,850,000	0	5,000,000	1,551,850,000
投資有価証券	1,248,000,000	72,750,000	0	1,320,750,000
小 計	2,804,850,000	72,750,000	5,000,000	2,872,600,000
特定資産				
30周年記念準備金 積立	10,000,000	5,000,000	0	15,000,000
30周年記念準備金 指定寄附	0	0	0	0
小 計	10,000,000	5,000,000	0	15,000,000
合 計	2,814,850,000	77,750,000	5,000,000	2,887,600,000

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	1,551,850,000	(1,309,350,000)	(242,500,000)	—
投資有価証券	1,320,750,000	(1,320,750,000)	—	—
小 計	2,872,600,000	(2,630,100,000)	(242,500,000)	—
特定資産				
30周年記念準備金	15,000,000	(0)	(15,000,000)	—
30周年記念準備金 指定寄附	0	0	0	—
小 計	15,000,000	(0)	(15,000,000)	—
合 計	2,887,600,000	(2,630,100,000)	(257,500,000)	—

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備 品	280,560	280,559	1

## 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産(運用益)から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	運用益金額	振替金額	差額(指定正味 財産増減額)
経常収益への振替			
指定正味財産受取利息	512,053	512,053	0
指定正味財産受取配当金	37,500,000	37,500,000	0
指定正味財産一般正味財産へ振替	0	5,000,000	△ 5,000,000
合 計	38,012,053	43,012,053	△ 5,000,000